

マイフレームをつくろう



フレームを見てみよう！

美術館にかざってある絵の多くには額縁がくぶちとよばれるフレーム（わく）がついているよ。

みんなは絵を見るときにフレームに注目して見たことはあるかな？

フレームには、絵が傷つかないように守るという大切な役割わりとともに、絵をより「作品」らしく見せてくれる効果こうかがあるよ。それは、フレームの中と外で、絵の中の世界と現実の世界げんをわけているからなんだよ。だからみんなの身の回りにあるものや、よく見ている風景けいも、フレームをつけると作品にへん変身するかもしれないよ。

自分のフレームをつくって試ためしてみよう！

用意するもの

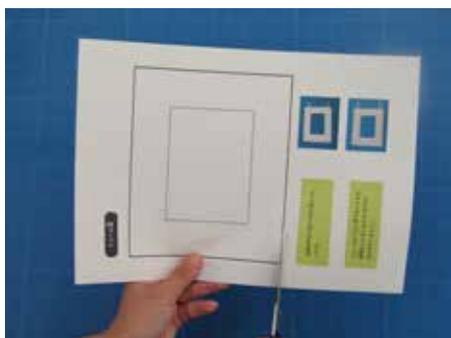
・厚紙など ・はさみ ・カッター ・えんぴつ ・じょうぎ

つくりかた

1. フレームの^{かた}型紙をつくろう。

フレーム型を^{いんさつ}印刷して、線にそってのはさみで切ろう。

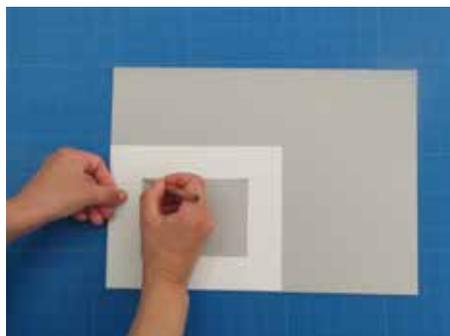
^{がわ}内側の点線のところはカッターで切ってね。型紙のできあがり。



カッターを使うのがむずかしい人は、大人に切ってもらおう。

2. 厚紙の上から型紙をあてて、えんぴつで形をなぞろう。

厚紙がない場合、お菓子の^か空き箱などを使おう。

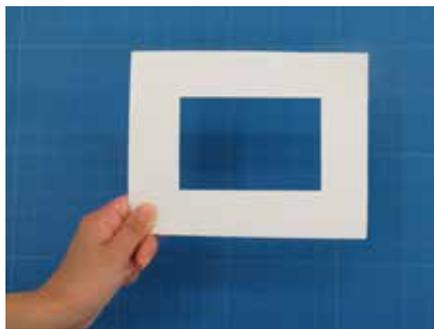
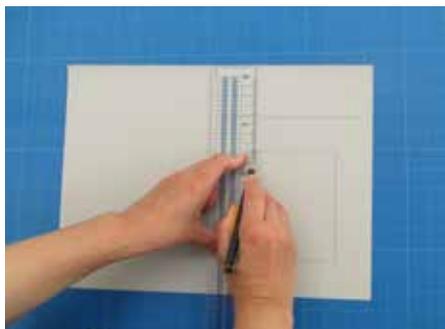


型紙が動かないようにしっかりおさえてね。

3. フレームの形に切ろう。

厚紙をえんぴつの線にそってのはさみやカッターで切ろう。

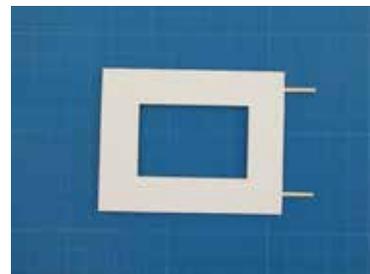
マイフレームのできあがり♪



フレーム^{かた}型



フレームに色や模様^{もよう}をつけても
いいよ。



フレームがうまく持てないときは、
裏側^{うらがわ}にわりばしなどをつけると
持ちやすくなるよ。

